

第 55 回インナーゼミナール大会

研究計画書

ゼミ名	森ゼミ	チーム名	ギャンブル行動研究会
タイトル	あなたの隣はギャンブラー？～ギャンブルする人の特徴について～		
テーマ群	g) その他		
メンバー	河野明日香、嶋田彩人、大友蒼満、酒井渚沙、井上弘翔、井澤悠、内橋穂乃香		
研究計画内容	【研究背景】 近年、日本におけるギャンブルの利用状況は大きく変化している。 令和 5 年度の厚生労働省の調査によると、過去 1 年間にギャンブルを経験した人の割合は男性 44.9%、女性 26.5%で、ギャンブルは広く一般に浸透していることが分かる。また、新型コロナ拡大以降、オンラインでのギャンブル利用も増加傾向にある。 2016 年にはカジノ法案が成立し、国内にカジノ施設設置も予定されている。これにより、さらに多くの人々がギャンブルに触れる機会が増えると考えられ、ギャンブル依存症などへの対策が一層重要となってくる。特に、インターネットの普及によって、これまでギャンブルに縁のなかった人々も新たに巻き込まれるリスクも高まっている。 このような現状を踏まえ、ギャンブルを行う人の特徴や心理的傾向を明らかにすることは、ギャンブル依存の予防や早期介入のために重要と言える。本研究では、ギャンブルを行う人々の特徴について検討する。 【研究内容】 「ギャンブルをする人って、一体どんな人なんだろう？」 この素朴な疑問を解決するために先行研究の調査や私達が実際に行ったアンケートを用いた。その結果から、仮説を立てて重回帰分析を行い、身体的要因や心理的要因などからギャンブルをする人がどのような特徴を持っているのかを分析する。 【期待される効果】 ギャンブルをする人の特徴を明らかにすることで、ギャンブル依存症への予防と対策ができる。また、自分自身がギャンブル依存症にならないようなリスク管理を行いやすくなる。 【参考文献】 厚生労働省「令和 5 年度『ギャンブル障害及びギャンブル関連問題実態調査に関する報告書速報」、調査実施者：独立行政法人国立病院機構 久里浜医療センター、 (https://www.kantei.go.jp/jp/singi/gambletou_izonsho/kaigi/dai13/siryou2-3.pdf、2025 年 10 月 9 日閲覧)		